

土浦平和の会

ニュースNO・71 1 q q q M a

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122



反安保・平和「学んで、語って、組織する」

齋藤房雄（代表理事）

明けましておめでとうございます。

また、昨年暮れの県議選で、共産党が1議席から3議席に躍進し、県政革新に大きな展望をもたらしたことを、皆さんとともに喜び合いたいと思います。

たゞ正確2Tj1つまで了ぎとして重要なのは新ガイドライン粉碎のだからいで その危険な内容をあら

ず
問題の「周辺事態」についてですが、それを日本のどの国家機関が認定するのか、どういう場合に認定する
か、いっさい規定がない。「周辺事態」になれば、日本は米軍の後方支援をやる、つまり戦争に参加する、
1.1、こ、h)。P n n 石十心ふぶ? こ・4・リ5?yJ4-r14--y r、!趾|抄二ふ? \-LJ-?1? 'Q?FJ' t1:1、ヴぞ、11 4-...J-j ハn=)yア、ノ)-...アアtyベX a110
という中心問題ですが、法案には日本の判断することはどこにも書いてありません。今回のイラク攻撃でも町
動支持 しましたが、「周辺事態」ということでアメリカが武力行使したら、自動参戦し、とにかく民間も自治
yj r jカ-立j7通1昌-F z I 馮、ト4-Jふ\1・斗ア)-)-
1-? u C t 二口|J 再x刀)=1) 'Q/ XyJ' "リIに" J\ 'J>句・' J 4ノノ>ノ
このように日本国民をアメリカの戦争に「自動参戦」させようとする法律を絶対に許すことはできません。
Fのためにわかしたちは、「学んで、語って、組織する」という基本を踏まえて奮闘することが大切だろうと
てr/に1リト司ノにしにりyよ、オルえ、面i" Jえ、取1障に1り)乙v・ノ吉写本包1崎ぶ人い昂11网ヲリ、-c/;F八叭Uにリノc
思います。 犬
Jlヒタ) 「nEl z y l&1 / 狂i1亡月£」。_ヴ' £E..L_ly合fiご猛]ト応づト* -K to Z、
ほeハノ、トタi0)'、シにし、な女コ'乙t)ノ裏' a-L/j' p 口u !とし/ \7 X. re^cyノソd、e_ / lz /-j

自白連立が”日米安保”をさらに危険な道に導く

昨年12月にアメリカは大量破壊兵器の査察に協力しないことを理由にイラク武力攻撃をおこないました。国連で協議している最中に国連を無視した行為は国際社会の批判を浴びました。ガイドラインで日本が参戦協力しようとする戦争の実体がここに示されています。

日本政府は、アメリカの軍事行動を無条件で即時に支持表明するという国際的にも異例な態度をとりました。その政府が「ガイドライン関連法案を通常国会で成立させることができる政権の枠組みをつくりたい」という考えのもとに成立したのが自白連立です。国連を舞台にしての国際貢献を掲げ、そのための法案整備を迫る自由党とF武力行使を伴わない海外派兵jで歯止めを掛けたと弁明する自民党。しかし、その一方で国連の決議を無視して、勝手に武力攻撃を加えたアメリカに即座に「支持」を与える政府が進めようとしているのがアメリカの行う戦争を後方支援するための法案作りです。

北朝鮮は「衛星打ち上げ」と言って、日本上空を通過するミサイルを発射し、アメリカはF査察を受け入れない」という理由で非戦闘員を巻き込んで空爆を強行しました。「兵たん支援が大事な戦闘行為であることは常識jです。輸送や補給でF戦闘地域と一線を画す」ことがどうして出来るでしょうか。加担しないことが平和のためであり、憲法の本質であることは明かです。アメリカとの同盟は国際貢献とは全く違うことがらです。

自白連立が危険を加速したことは間違いありませんが、自白は参院で過半数を取れません。関連法案を阻止することは可能です。野党の足並みが乱れることのないよう、世論の力で包囲していくことが求められているのです。力を合わせてカンパリましょう。

井上

芍で21こ

- ・2 平和の会新年会（荒川沖「麗花」）
- ・2 新春交流集会（常北町ふれあいの里）
- 2 宿泊5000円 当日2000円
- 3 申し込みは事務局まで

会員の内田 順さん（荒川沖）が昨年暮れ逝去されました。平成6年春の平和の会再建以来の会員でした。ご冥福をお祈りします

